

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

立：1980年(昭和55年)1月10日
創会長：松波 恒彦
幹事：平野 好道
クラブ委員長：大嶽 達郎
例会日：毎週木曜日PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

第1578回例会

～家族月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2012年12月6日(木) 曇 第22回

司会：堀慎治会場委員長
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト：名古屋テレビ塔株式会社取締役社長
大澤和宏さん

会長挨拶

松波恒彦会長

今日は名古屋のシンボルである名古屋テレビ塔のお話をさせて頂けると聞いております。名古屋テレビ塔といいますと、独身時代に家内と行った大変楽しい思い出のある場所でございます。これは名古屋で育った会員の方々は皆さん同じだと思います。テレビ塔は様々な歴史があり、本日はそのご説明をさせて頂きます。日本で初めてできたテレビ塔は名古屋の誇りです。名古屋の人々が愛したテレビ塔のお話をさせて頂けるということです。よろしくお願い致します。



先週、台北延平RCが訪問された際、皆さん、色々ご接待ありがとうございました。夜遅くの空港の出迎え、観光、そして二次会には沢山の方にご参加頂きまして、ありがとうございます。2日目の観光の時、少し寂しかったこともありまして。それは香嵐渓の方に出かける日の事です。朝8時前に鶴田さんに来て頂き、バスの中に飲み物がなかったため、コンビニでお茶などを買ってきて頂きました。3人で同行しましたが、少し考えて頂きたい点がございまして。皆さん、台北延平RCを訪問された時の歓待ぶりは記憶に新しいと思います。皆さん、その時の事をすこしお忘れになっているのではないかなと思います。特に長い25年の友好姉妹提携を結んでいる台北延平RCに来年3月も当クラブから大勢で訪問し、歓待を受けるでしょう。本年度は私の指導力不足で大勢でお迎えできませんでしたが、台北延平RCの方々は大変感謝をしてお帰りになられました。次年度、台北延平RCの皆さんがいらっしゃる時は、会長経験者を含め大勢でお出迎えをして歓待をしたいと思っております。そして、お昼に現地へ大嶽さんにお仕事から駆けつけて頂いた事、本当に感謝致します。

出席報告

鶴田浩出席委員

会員64名 出席46名 (出席計算人数51名)

出席率 83.6% 11月29日は補填により 94.6%

幹事報告

平野好道幹事

- ・12月6日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第6回理事会を行います。
- ・次週12月13日(木)18:00よりヒルトン名古屋4F「竹の間」にてクリスマス家族会を行います。
- ・メールボックスにガバナー会からの依頼による東京オリンピック招致委員会からのパンフレットとバッジが入っております。

ニコボックス

鶴田浩ニコボックス委員

- ・12月2日は妻の誕生日でした。綺麗なお花、ありがとうございます。
稲葉 徹さん
- ・結婚記念日11月5日でした。先週の台北延平RCに関する事業は皆様のご協力で無事終了致しました。ありがとうございます。
本多 清治さん
- ・先週、妻の誕生日に素敵なお花をいただき、ありがとうございます。大変感激しておりました。
山本 英雄さん
- ・本日、卓話で大澤さんをお迎えました。
増田 盛英さん
- ・名古屋テレビ塔の大澤社長、今日の卓話訪問有難うございます。
遠山 堯郎さん
- ・先週、家族で鳥羽に行きました。大変疲れました。
鈴木 淑久さん
- ・ロータリーバッジ無くしました。
八木沢幹夫さん
- ・寒くなりました。風邪にご用心。鶴田さんの御本、楽しく拝読致しました。
高木 元明さん
- ・宗宮先生、お世話になります。
堀 慎治さん
- ・先日の延平RCの香嵐渓観光に鶴田さん、大嶽さんに同行頂きました。ありがとうございます。
松波 恒彦さん
- ・ちょっと良いことがありました。
江口 金満さん
- ・昨日、高村先輩ありがとうございました。
山口 哲司さん

12月お誕生日おめでとう

平野 好道さん 泉 憲一さん

卓話

名古屋テレビ塔株式会社取締役社長 大澤和宏さん

テレビ塔の再生と名古屋の魅力

ちょうど今から6年前にも名古屋瑞穂RCにお邪魔させて頂きました。その時は平成18年6月に行われたリニューアルについてお話をした記憶がございます。アナログ放送終了に向けての第一ステップについてお話をさせて頂いたと思いますが、あっという間にあれから6年経ちました。昨年の7月にアナログ放送は予定通り終了し、現在はテレビ塔の今後について検討が行われています。本日、名古屋市議会で今後のテレビ塔について初めて議論して頂いております。いずれ名古屋市を含めきちんとした事業スキームを創らなくては存続が難しいという事です。皆様にもぜひご関心を持って頂きたいと思っております。



今年5月22日に東京スカイツリーがオープンしましたが、その事業スキームを創ったのは名古屋でございます。名古屋には立派な事業や全国に先駆けた施設が沢山ありますが、それを全国にPRしていません。私はそれらをもっと自慢してはどうかと強く思います。

東京は昭和28年にテレビ放送がスタートしましたが電波塔が各

局それぞれにあったため、昭和33年に前田久吉さんが名古屋のテレビ塔を見習って東京タワーをお作りになりました。テレビ塔の設計をしたのは早稲田大学の建築構造学の大先生である内藤多仲さん、その後、日建設さんが引き継がれさっぽろテレビ塔、東京タワー、福岡タワー、東京スカイツリーを作られました。現在、日建設さんが全世界で使う技術ノウハウは名古屋で作られました。テレビ塔を見ると、名古屋が新しい挑戦をし、それが日本そして世界に広がっている事がわかり頂けるかと思えます。

オープン1週間程前に東京スカイツリーに行って参りました。634mと高いですが中はテレビ塔と同じです。タワーというのは非常に収益性が悪いものです。普通のビルは各フロアに面積がありそれが収益になりますが、タワーは殆どが鉄塔で収益スペースは本当にわずかしかなりません。そのため、どこのタワーでもタワー単独で考えると完全な赤字で、決して採算がとれるものではありませんので、足元に誘客施設を作る事になります。東京スカイツリーの場合もソラマチという街を作り、そこに水族館や美術館やショッピングモールを誘致しています。東京タワーや通天閣も同様です。テレビ塔も、足元の久屋大通公園がかつては大変賑わっていました。タワーの足元は収益性を確保するため、非常に重要なポイントとなります。

名古屋は太平洋戦争で壊滅的な打撃を受け、爆弾投下量においては原子爆弾を除いて日本で第二位だったそうです。その後名古屋は自力で復興し素晴らしい町となりました。栄周辺も壊滅的な打撃を受け、密集していた民家も全部燃えてしまいましたが、逆にその広い敷地を利用した都市計画により久屋大通公園が作られ、真ん中にテレビ塔が建設されました。二階建ての木造建築が多かったその時代に、テレビ塔というびっくりするような物を作ったのです。開局の昭和29年6月20日は曇り空の中行列ができました。久屋大通公園は当時賑わいの拠点で、熱田神宮が出張所のようなお社を作った程でした。多彩なイベントも行われ、百貨店も立ち並び、平面から立体都市へと変化しました。久屋大通公園の木も大きく育ち緑豊かな町になりました。

テレビ塔は今年で58年になりますが、年間100万人前後であった入場者は今では当時の約6分の1か5分の1です。これは単にテレビ塔への入場者だけではなく、栄地区の流入人口の落ち込みを表します。名古屋駅前はどうも元気がなくなり名古屋としては喜ばしい事ですが、同時に400年の歴史を持つ栄も再び魅力ある町にしていかなければいけません。今年から名古屋市も栄地区グランドビジョン懇談会というのを立ち上げて今年度中に方針を出す事になっていますし、中部経済連合会および名古屋商工会議所でも名古屋の街作りを考える会を立ち上げました。また、都市公園を民間参加型に変えようという名古屋市の方針により、今年名城公園で社会実験が行われます。久屋大通公園も民間で活用して収益をあげ、街を元気にしようとして進められています。テレビ塔を取り巻く周辺の課題が全て、現在同時進行で進んでいます。その中心になるのが鉄塔をどう活用するかという事になりますので、テレビ塔が起爆剤となり公園を魅力的にして、栄全体の活性化を図る事ができればと思います。

この名古屋テレビ塔というのは極めて特殊な株式会社です。このような形態をとっているのはおそらく、日本で名古屋だけであろうと思います。塔体はNHK、CBC、当会社の三社共有の施設です。株は資本金8,000万円、出資者は106名です。法人としては名古屋市内の主な企業は殆どが株主となっており、この中にもお世話になっている株主様がいます。従って、施設は放送事業者とテレビ塔株式会社の共同で今日まで運営して参りました。

テレビ塔は平成17年に文化庁の有形登録文化財の認定を受け、いずれは重要文化財となる可能性もあります。戦後の文化財としては高い評価も頂いていますので、ぜひ大事に維持していきたいと思えます。平成18年にリニューアルオープンし今日までやってきましたが、昨年アナログ放送が終了しいよいよ再生事業も佳境でございます。今後、名古屋市とともにテレビ塔を存続させる事業スキームを作っていくことになっています。

58年経ちますが、テレビ塔の機能はいささかも低下していません。昨年アナログ放送が終わって、マルチメディア放送という携帯無線端末向けの放送が始まりましたが、この電波はテレビ塔から出て

います。都心部におけるテレビ塔の様な鉄塔は、おそらく二度と建設できない非常に貴重な財産です。無線の需要は今後、移動体を中心に益々増えていくと考えられますので、テレビ塔の電波鉄塔としての価値は非常に高いと思えます。そして、塔体を利用したイルミネーションも都市景観にとっては、非常に大事な物です。今まではアンテナが重すぎてとてもできませんでしたが、放送終了に伴いそれらは外されましたので、これからは多彩なイルミネーションができるようになります。スカイデッキは90m~100mの高さで、非常に魅力的な展望です。現在2階と3階がいており、合わせて約1,600平米あり、色々な事に利用できるだろうと思えます。ただし耐震上の問題があり、免震をしなくては整備する事ができません。テレビ塔にとっては耐震が一番の課題であり、これに約15億円、名古屋市の試算では23億円という数字が出ています。収益性が厳しい塔体としては、とても収益の中からはそれが確保できない事が大きな問題となり、それをクリアしていかななくてはなりません。

12月1日からNAGOYAアカリナイトが始まりました。開府400年で名古屋市がスタートした事業ですが民間が引き継ぎ、今年からテレビ塔周辺でイルミネーションをしていますので、ぜひ皆さん足をお運びください。名古屋駅にはない「空間」を利用した魅力あるものになりたいと思えます。駅前には「栄」は栄で名古屋の一つのシンボルとしていく事が今一番求められています。ぜひ名古屋瑞穂RCの皆さんにもその点をご理解頂き、これから始まる街づくりの活動に、ぜひご参加・ご支援頂ければ大変有難いと思えます。本日は本当に有難うございました。

国際ロータリーニュース

大航海時代、ポルトガルの探検家たちは、リスボンから新大陸発見の旅に出ました。リスボンは、2013年6月23~26日に開催されるRI国際大会の開催地です(最も低料金でご登録いただける期限は12月15日です)。

ポルトガル大航海時代への道を開いたエンリケ航海王子(ジョアン一世の子息)は、15世紀初頭にアフリカ大陸東岸へ向けた探検を先導しました(1484年、クリストファー・コロンバスがジョアン二世に対し、インド諸島発見のための航海を提案しましたが、拒絶されています。代わりにスペインの援助を受けて、コロンバスは航海を成功させました)。

ポルトガルの探検家の中で有名なのは、バルトロメウ・ディアスです。1488年にアフリカ大陸最南端の喜望峰に到達し、ヨーロッパからインド諸島への航海(香辛料を求めての航海)が可能であることを実証しました。1497年、バスコ・ダ・ガマはさらに航路を進め、アフリカ大陸東岸からアラビア海を経て、インドに辿り着きました。3年後、ペドロ・アルヴァレス・カブラルが、インドを経て初めて南西に航海し、現在のブラジルに到達しました。

1519年、フェルディナンド・マゼランは、初となる世界一周の航海を率いましたが、フィリピンでの戦闘で命を落とし、航海を完了できませんでした。マゼランはポルトガル人でしたが、この戦死により国内での支持が得られなくなったため、残された船隊はスペイン主導の下で航海を続けました。

リスボンでは、大航海時代のポルトガルの栄華の面影を見ることができます。バスコ・ダ・ガマが永眠するジェロニモス修道院やテージョ川からの敵の侵攻を妨げるために建てられたベレンの塔などが代表的です。

例会のご案内

■今週の行事 12月13日(木) クリスマス家族会

場 所：ヒルトン名古屋4階「竹の間」
時 間：18:00~20:00

■次週の行事 12月20日(木) 第3回クラブフォーラム(年次総会)

場 所：ヒルトン名古屋4階「桜の間」

■次々週行事 12月27日(木) 上期納会

場 所：八勝館
時 間：18:00~20:00